



6月になりました。中間考査の結果はいかがでしたか？。目標を立て、きちんと勉強できましたか？。平均80点以上なら合格です。今後も頑張ってください。芳しくなかった人はもっと頑張しましょう。普段から勉強時間を確保し、勉強する癖をつけて下さい。一夜漬けのような全く意味の無い勉強方法はやらないようにして下さい。時間の無駄ですよ。

【三者面談開始】

昨日から三者面談が開始されました。本校では毎年6月の初めに実施されています。その主な理由は、来年度の選択科目や文理分け、受験方式の相談をするのに適した時期だからです。1年次生は、高校生活に慣れたか、中間考査の結果を基に高校生活について行けるのか、来年度の選択科目を何にするのか、進路希望に関してなどが話されると思います。まだ文理分けではないのですが、選択科目によっては自分の進路の幅を狭めてしまうので、よく考えて科目選択を選んで下さい。2年次生は文理選択という重要な選択に迫られます。毎年、何人かがこの選択を誤り、理系クラスに入ったけど文系で受験するといった生徒が現れます。授業は理系科目なので負担が大きいです。文理選択だけは間違えないようにしましょう。また、少しずつですが大学受験が現実味を帯びてきます。しっかりと目標を立て、進路実現を目指して下さい。3年次生は、自分の進路に向けて、最終面談となります。4年制大学受験なら、受験方式、受験大学、学部学科、受験科目など細かい確認が必要と

なります。この段階で目標が決まっている生徒は、最後まで諦めずに受験勉強を行ってください。この時期にまだ受験先が確定していない人もいますが、文系・理系だけはしっかりと固めて下さい。昨年度も何人か理系から文系に変えた生徒がいました。遅ければ遅いほど不利になることはわかりますよね。短大希望者は、なぜ今短大なのかよく考えて選択しましょう。短大ならではのメリット、デメリットを考慮し、学校や学科を選んで下さい。幼児教育や保育ならお勧めします。専門学校希望者は、選択する学校を間違えないようにして下さい。お金儲けしか考えていない学校も多々ありますので、注意が必要です。わからない場合は、担任や進路指導部に相談して下さい。公務員希望者は、高校の基礎的な勉強をきちんとこなして下さい。得点が取れなければ、合格はできません。

『進路指導カード』

進路

進路先を考えよう

年 組 名前

あなたが進みたい学校は…

第1希望	(学校名)	(学科等)	(理由)
第2希望			
第3希望			
第4希望			

その学校に進むために、どのようなことをしたらよいのか、具体的に書きましょう。

先生より

【教育実習開始】

今年の教育実習生は、主に3校合併前の最後の卒業生たちです。その先輩方が、3週間ほどの教育実習にやってきました。教育実習生は、教員になることを目標として実習に来るわけですが、大学4年生ということもあり、身近な受験経験者とも言えます。この機会に、受験のことなどでわからないことがあれば、積極的に質問してみるのも良いと思います。また、将来教員になろうと考えている人たちは、先輩達の姿を見て学んで下さい。

【3年次】

中間考査・推薦入試説明会・一般入試説明会が終了しました。中間考査の学習を通して基礎固めはできたでしょうか。授業の中で入試の土台を固めることが、一番効率が良いのは言うまでもありません。考査の解き直しもやってください。国語と英語は解き直しノートの提出があります。

推薦入試説明会では、推薦入試の注意点・出願手順などの説明がありました。「担任に相談なしにエントリーしない」「推薦入試は原則専願なので1つしか受験できない」（併願可なのかどうか）などの確認をお願いします。大学入学後に「学びたいことと違っていた」「授業レベルが低すぎた」などの理由で再受験や退学をする人がいます。安易な推薦入試はお勧めしません。

一般入試説明会では、受験スケジュールと時期ごとのポイントを確認しました。受験の流れを頭に入れ、期日を守り、早めの準備をお願いします。6月頃から各大学の募集要項を取り寄せ、受験方式・受験科目等に変更点がないか…など新しい情報を得ておきましょう。

三者面談が始まりました。「第一志望宣言」をして、覚悟を決めてください！ 保護者ともよく話し合っておきましょう。面談週間は、まとまった時間があります。じっくり取り組めるチャンスです。

模擬試験の活用

5月は河合塾模試を2回実施しました。6月5日（共通テスト）と7月17日（記述）には全員対象のベネッセ模試が行われます。これから入試まで模試を受験する機会が多くなります。模試をうまく活用することで、受験勉強を効率的に進めてください。

《 模擬試験の効果 》

①長期間にわたる受験勉強の集中力を維持できる。

模試をペースメーカーにすると、「〇月〇日に模試があるから、それまでにこの範囲をしっかりと終えておこう」のように、目標を立てやすく、勉強がはかどる。

②自分の弱点や課題を見つけられる。

③全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかめる。

④試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につけられる。

時間配分が上手くなり、周りの雑音をはねのけられる集中力を強化できる。

「まだ自分の実力が十分でないから、模試は受けない」という人がいましたが、授業と受験勉強を別のものと考えているのではないのでしょうか。模試は、授業で学んだ内容をアウトプットする練習にもなります。さらに大事なことは、自己採点後に「やりっぱなしにしない」ことです。特に、「正答だがあやふやだったところ」「間違えたところ」の問題の復習、「自分のミスしやすい分野」の分析をしましょう。補強すべき科目や分野を把握し、学習の優先順位を立てることが大切です。

河合塾模試について

8月の河合塾模試は、学校実施と決定しました。河合塾生も学校実施の場合は、校内受験を勧められています。申し込み後のキャンセルは出来ないのです、今から夏の予定を確認しておいてください。

8月7日（土）全統共通テスト模試 8月28日（土）全統記述模試

河合塾模試は母集団が最も大きく、中堅以上の大学を目指す者は受験しましょう。

【2 年次】

今後の模試スケジュール

去年と同じではありません。志望校の判定や科目の増加など、より現実の入試に近づきます。去年以上に事前準備、受験後の復習にしっかり取り組み、来年度につなげていきましょう。(2 年生用の進路通信でより詳しく掲載します。そちらも合わせて読んでください) ←

日程←	模試←	会場←	教科←	レベル・志望校への学力到達判定など←
6/13 (日) ←	第 1 回駿台模試←	外部←	英国数←	ハイレベル 5 校判定記入←
7/17 (土) ←	ベネッセ←	校内←	英国数←	基本～標準レベル 4 校判定記入←
8/28 (土) ←	第 2 回河合全統←	校内←	英国数←	標準レベル 7 校判定記入←
10/17 (日) ←	第 2 回駿台模試←	校外←	英国数←	ハイレベル 5 校判定記入←
10/23 (土) ←	第 3 回河合全統←	外部←	5 教科←	標準レベル 7 校判定記入←
11/6 (土) ←	ベネッセ←	校内←	5 教科←	基本～標準レベル 4 校判定記入←
1/10 祝←	河合共通テスト←	校内←	5 教科←	標準レベル 7 校判定記入←
1/22 (土) ←	第 4 回河合全統←	校内←	5 教科←	標準レベル 7 校判定記入←
1/29 (土) ←	ベネッセ←	校内←	5 教科←	基本～標準レベル 4 校判定記入←
2/5 (土) ←	ベネッセ共通テスト←	校内←	5 教科←	基本～標準レベル 8 校判定記入←

(状況により変更になる可能性もあります) ←

模試ノススメ←

※コロナ禍により校内で行う模試が増えました。←

「まだ早い」と思わず、受験できるときにどんどん受験しましょう。来年に向けて経験値を上げていくことが良い結果につながります。(大学入試は直前にがんばれば受かるほど甘くはありません) ←

※このほかにも、オンラインで自宅受験できる駿台 [atama+](#) 学力判定テスト (無料) や、東進ハイスクールの模試もあります。(教室に掲示してお知らせします) ←

※模試は練習試合。自分よりレベルの高い相手と闘うことを通して大きな成長につなげてください。(できることだけやっても成長しない。できないことをやるから伸びる) ←

※感染状況にもよりますが、2 年生のうちに「外部会場」の模試を経験してほしいです。←

外部受験のメリット←

- ・行ったことのない場所に自分で行くことは入試本番により近いかたちになり、慣れることで入試際の緊張を軽減できる。←
- ・多くの進学校の生徒が受験するので、頑張っている同学年の人達から良い刺激をもらうことができる。(進学校ほど外部受験に取り組んでいます) ←
- ・一人で受験しに行くと、緊張感ある一日になるので、いろいろな面で自分を鍛えることができる。メンタルを強化できる。←

☆まとめ 古来、「習うより慣れる」と言いますが、模試も「受験することに慣れる」です。3 年生になってから模試に追われるのではなく、先手を打って今から模試に強くなりましょう。がんばろう！ ←

【1 年次】「ドラゴン桜」に学ぶ！～本質を考える力と想像力～←

今期の TBS 系ドラマ「ドラゴン桜」。観ている人も多いのではないのでしょうか。阿部寛演じる型破りな弁護士桜木が、落ちこぼれ高校生たちを救え上げ、東大合格へ導いていく。今期ドラマの中では一番期待値が高いと言われているドラマです。ドラマの出来云々については分かりませんが、出てくるメソッドはホンモノ。そういった意味で高校生が観ても参考になる点が多いドラマです。以下、その点についての私見を述べます。←

1 桜木メソッド「アウトプット学習法」←

5 月 9 日放送の第 3 話は、「一発逆転！ バカでも秀才に勝てる勉強法！」でした。タイトルが示すとおり、劣等生の部類に入る高校生 4 人組が、理系トップ偏差値 68 の優等生藤井 (成績優秀を鼻にかけて周囲を見下すイヤなヤツ) と東大入試問題に挑んで点数を競い合い、逆転勝利する話でした (ネタバレすみません)。←

桜木が劣等生たちに課した勉強法の一つに、次のようなものがあります。←

「おまえらの何気ない日常を世界中に英語で配信しろ！」←

桜木は彼らに「ユーチューバーになれ」「1 日 20 ツイートしろ」と迫ります。ただし、英語でそれを行えと言うのです。また、問題集を与え、「解説を読んで分からなければ互いに教え合え」と指示します。←

これらは、「アウトプット」を重視した勉強法です。「勉強はインプット 3 割、アウトプット 7 割」と言われます。また、人に教えることが一番の学びであることは科学的にも実証されています (「シャドウティーチング」や「ラバー・ダック勉強法」などもその一つです。←ネットで検索してみよう)。桜木の教え子たちは素直にそれを実践し、力をつけます。←

2 「本質を考える力」←

第 3 話では、このようなメソッドだけではなく、「勉強に対する考え方や姿勢」、もっと言えば、「自身の人生を生きるための指針」も示されています。←

桜木は言います。←

「東大が一番求めている能力は何だと思う？ どれだけ本質を考える力があるかだ」←

「東大生は日常目にするすべてのものに対して『なぜ』を考え、本質を見ようとする。おまえたちがやるべきなのはその思考法を学ぶことだ」←

本質を見ることが大切。これは何も東大を目指す人に限った話ではありませんね。←

3 入試問題は大学からのメッセージ 試験はコミュニケーション←

敗北した藤井に、桜木が言い放ちます。「おまえの敗因は問題のせいなんかじゃない。その性格の悪さだ」それに対して藤井は、「性格？ 試験と関係ねえだろ」と答えます。一見正しそうな藤井の言葉ですが、果たして本当にそうでしょうか。←

実は、答案には、解答者の人間性が如実に表れるものなのです。細やかな人は細やかな答案を書く。独りよがりな人は独りよがりな答案を書く。大切なのは、試験とは作成者と解答者のコミュニケーションなのだ、ということです。作成者のメッセージをどう受け取り、どう答えるか。そこには他者に対する想像力が欠かせません。読めないような乱雑な文字で解答を書くのも、想像力の欠如の表れの一つです。←

自信満々の藤井でしたが、答案はお粗末なものでした。英作文は文と文との間に飛躍があり、地理の記述は多角的な視点を欠いていました。彼は本質を見ようとせず、人の気持ちを想像することができなかったために、独りよがりな答案を書き、自滅するのです。←

桜木は言います。「東大ではよく多角的な視点を問う問題が出題される。それはつまりあらゆる立場にいる人間の気持ち想像できる、そんな人間が欲しいという東大からのメッセージだ」……これも、東大に限った話ではありません。行きたい大学が見つかったら、ぜひ、入試問題を見てください。その大学がどのような人物を求めているか (どのような能力があり、どのような人間性で、どのようなことに問題意識を持つ人間を求めているか……) が感じ取れるはずですよ。←

1 年生にはまだまだ先の話に感じられるかも知れませんが、まずは、なぜ学ぶのかを考え、物事の本質を捉える目を養い、想像力を育てましょう！ ←